男女共同参画 in パレア　マインドアップセミナー①

女性起業 成功の秘訣

オーガニック事業を展開する反後人美さんを講師に迎え、「女性起業成功の秘訣」と題して7月3日、オンラインセミナーを開催しました。多様な生き方や働き方を可能にする「起業」。県内外の54人が参加し、反後さんが起業した経緯や思い、継続させるために大切にしていることなどについて話を聞きました。

講師 反後（たんご） 人美（ひとみ）さん（かねくら株式会社　代表取締役社長）

1961年熊本市生まれ。熊本女子大学（現熊本県立大学）生活科学部卒業。1990年㈲ヒトミコーポレーション設立。2000年父が設立したかねくら㈱の代表取締役社長就任。自然素材賃貸マンション建設、オーガニック事業「ピュアリィ」起業。女性管理職100％、女性スタッフ数80％。平成28年度環境大臣賞受賞。自然栽培全国普及会九州ブロック事務局代表。1男1女の母。

「なぜ自分にばかり起こるのだろう。起きてしまったことには必ず原因があるはずだ」。反後さんは自身や実父の病気、親子3代のアレルギーなどに悩まされ、原因を探るうちに、「シックハウス」という問題にたどり着きました。それを知った反後さんは、「とにかく健康に良い住まいを建てたい」と地元建材を使い、自然素材にこだわったマンションの建設に着手。これを機にオーガニック事業に参入しました。

その後、自然栽培（農薬・肥料不使用）の野菜やお米のおいしさに感動し、「子どもにできるだけ自然なものを与えたい」と2005年3月、熊本市にオーガニックのショッピングモール「ナチュラル&ハーモニックピュアリィ」を開店。ここでは、自然栽培の作物や自然素材の商品、学びの場など、体と心が健康な生活を提案しています。反後さんは自然栽培農家にも足しげく通い、農業の奥深さに触れます。「農業は素晴らしい。作る人から食べる人まで、幸せの輪が広がる仕事をやっていきたいんです」

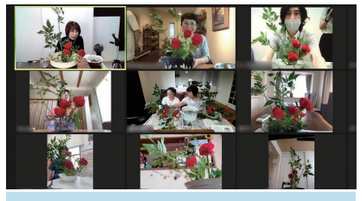
2016年の熊本地震で店は大規模半壊し、営業休止に追い込まれました。しかし、困っている人のために、反後さんはマンションの1階で全国から集まった支援物資の配布を始めます。「命の大切さ、食べ物や水のありがたさ、何より、人と人が普段からつながっていることがこんなに大事なことかと気付かされました」。店舗の再建には多額の資金が必要です。当時55歳の反後さんは迷いながらも、周囲の要望や応援に力をもらい、再出発を決意。地震から1年4カ月後の2017年8月に再開しました。

自分や家族の悩みをきっかけに新規事業を始め、家族が幸せになることを事業として実践してきた反後さん。「どんなことがあっても自分の足元にある家族や大切な人の幸せが一番。その次は地域の幸せ。その延長線上に世界中の幸せ＝平和がある」と結びました。

県内で男女共同参画を推進する団体が集結

男女共同参画 in パレア ワークショップ①

「男女共同参画 in パレア ワークショップ」は、年3回夏、秋、冬に行っている催しです。7月3日と4日には、県内で男女共同参画を推進する11団体がワークショップを実施。「女性の政治参画」や「子育てママの仲間づくり、メンタルケア」などのテーマのワークショップに、延べ約140人が参加しました。



生け花・基本の基本

主催：NPO法人ブライトパル熊本

誰でも気軽に参加できるようにと、オンラインで開催された生け花ワークショップ。初めて参加した男性からは、「思い切って参加して良かった。分かりやすく、大変面白かった」との声が聞かれました。

子育て×介護？ そして自分の人生も楽しむには？ ～ダブルケアをあなたらしく、幸せに～

主催：ダブルケア熊本

少子高齢化で、これからも増えていく問題“ダブルケア”のワークショップを行いました。「同じような状況の人と話すことで、共有できるものが多く、参考になりました」などの感想が寄せられました。

情報ライブラリーだより

テーマ／女性起業

パレア9階情報ライブラリーでは、男女共同参画、生涯学習、NPOに関する図書などの貸し出しを行っています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

小さく始めて夢をかなえる！「女性ひとり起業」スタートBOOK

小谷晴美 著
コスミック出版

「好きなことや得意なことで人の役に立ちたい」「自分らしさや能力を発揮してイキイキと活躍したい」そんな思いを持つ人へ、その時々のライフスタイルに合わせて働く「しなやか起業」の方法を伝授。主婦・子育ての経験を生かして起業するヒントが、著者自身の経験とともに紹介されています。女性の起業の不安や悩みを解消するヒントが詰まった一冊です。

女性の起業は「キャラづくり」で成功する
人間性・魅力を高めて、あなただけのファンを増やす方法

増田悦子 著／コスミック出版

26年間宝塚歌劇団に所属していた娘のファンクラブ運営の経験を生かし50歳で起業した著者。ファンクラブをコンセプトに、起業に必要となる「キャラブランディング」を生かした商品・サービスづくり、また営業しない経営術など「求められるあなた」につながる一冊です。コロナで変わってしまった社会で起業するためのヒントも紹介。

自分らしく、しなやかに生きるワークライフのヒント 女性起業家の新しい働き方

根本登茂子 著
カナリアコミュニケーションズ

何度つまずいても、いくつになっても、自分らしく人生を謳歌（おうか）したい。年齢や職種、地域を越えた30代から80代の女性起業家24人の感動ストーリー。新しい起業スタイルの見つけ方、夢をカタチにするヒント、繁盛店になる秘訣など即実践できるノウハウや女性起業家への支援体制、ビジネス成功へ導く実例を紹介しています。

コラム

「四賢婦人物語」に学ぶ
～時代を切り開いた矢嶋姉妹　その⑦

幕末の頃、益城町の矢嶋家に誕生した四姉妹（竹崎順子、徳富久子、横井つせ子、矢嶋楫子）。自ら行動を起こし、男女平等社会の礎を築くことに尽力した四賢婦人にまつわるストーリーを紹介します。

文・齊藤 輝代

～試練や挫折を力に～ 女性の地位向上に命をかけた矢嶋楫子の原点

さいとう・てるよ
益城町在住。2014年度「熊本県民文芸賞」一席受賞。2015年「短編小説集百年の綿菓子」出版。2016年「第1回安川電機九州文学賞」大賞受賞。2018年「まんが四賢婦人物語」出版（原作者）。2019年現代誌部門「詩と眞實賞」受賞。

コロナ禍の中で開催された東京五輪でしたが、今印象に残っているのは、さまざまな試練や挫折を乗り越えて競技に臨んだアスリートたちの清々しい汗と涙、そして支えてくれた人々への感謝の言葉です。苦しい体験は心身を限りなく強くする、と感じました。

矢嶋家の6女楫子は大正14年92歳で没するまで女子教育、社会活動家として女性の地位向上を願い、活動を続けました。彼女の信念の強さは何度も人生の挫折を味わったからこそと思われます。

明治元年、35歳の楫子は2人の子を残し、乳飲み子を抱いて実家に帰りました。女からの離婚など許されない時代でした。産後の楫子の視力は落ち、体は衰弱していました。夫の酒乱に耐えきれず、黒髪を切り決意を示したのです。離婚後は姉たちの婚家に1年ごとに身を寄せ、5年間の放浪生活を続けました。

明治5年、上京した楫子は、教師の資格を取り自立の道を歩き出します。この頃、兄の家の書生と心を通わせるのですが、郷里に妻子がいることを知ります。「妾（めかけ）にはならない」と、男とは別れますが、姉たちの反対を押し切って女児を出産します。妙子と名付け農家に預け、後に養女として引き取りました。

結婚の破綻と秘密の出産は、楫子の人生に蹉跌（さてつ）と、それを乗り越える力を与えたと思われます。

「私は結婚の失敗者」と、楫子は言いました。失敗のない人生など深みも面白味もありません。苦難の道を生き抜いた楫子だからこそ心魅かれます。

矢嶋楫子
（女子学院所蔵）

※明治19年、禁酒運動をきっかけに基督教婦人矯風会会頭となった楫子は、一夫一婦制、公娼廃止、婦人参政権運動に取り組みました。